



コロナ禍であっても運動は止めない ZOOMで部会中間会議 56人参加

3月10日(水)、労災職業病部会 2021年中間会議が開催されました。今年には部会幹事を除いて、すべてオンラインで行われ53人が参加しました。

9時30分開始され、最初に九州社会医学研究所の田村昭彦先生による『「じん肺標準エックス線写真集」電子媒体版の改訂を慎重に芹澤研究班の動向』について特別講演がありました。続いて井上聡弁護士が「トンネル切羽における粉じん濃度測定の義務付け」について特別報告をされました。

午後は、福富事務局長による半期の報告。石田部会長からじん肺根絶訴訟の報告がありました。

討論では、宮崎からじゅうたんを作るときの工具フックガンで30年間使って振動障害を発症し、レイノー現象も出るのに「307号に該当しない」という監督署を認めさせた。長崎からは、2つのじん肺裁判の報告。岐阜からは神岡じん肺訴訟が5月25日に結審するなど、7人の発言と1人の文書発言がありました。(詳しくは部会ニュースを)

どの発言もコロナ禍で知恵を出し、工夫しながら会議や健康相談会をしていることが報告され、相談会ができなくても組合員からの紹介で、組合員を増やしているという発言が多くありました。



最後に高田副部会長が「コロナ禍であっても全国に仲間がいること、労働運動・労職の運動の動きを止めない。みなさんの仕事を円滑に進めるためにも、厚労省に要請などしていきたい。4月15日の院内集会を成功させ、7月の部会総会にはオンラインではなくお会いできるよう楽しみにしています」と締めくくりました。

核兵器禁止条約 1/22 発効・初めての開催 3・1 ビキニデーオンラインで

ビキニ環礁での米国の水爆実験による被災から67年の「2021年3・1ビキニデー」諸行事が2月28日と3月1日に行われました。

1954年3月1日、アメリカは太平洋ビキニ環礁において、広島型原爆の約1000倍の威力を持つ水爆実験をおこないました。この核実験によって、マーシャル諸島の人々や多くの日本漁船などが被災しました。静岡県焼津のマグロ漁船・第五福竜丸をはじめ多くの漁船が「死の灰」を浴び、23人の乗組員全員が急性放射能症にかかり、無線長の久保山愛吉さんは「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言い残しその年の9月に亡くなりました。当時は、毎日陸揚げされた魚の放射能が測定され、次々に廃棄処分されました。

この様子は連日報道され、国民全体に大きなショックを与えました。こうした中で、原水爆の禁止を求める署名運動が始まり、たちまち全国に広がって、1955年9月16日、原水爆禁止日本協議会【現在の原水爆禁止日本国民会議(原水禁)】が発足します。

広島・長崎の被爆者の悲惨な被爆の実態が、この署名運動の過程を通じて国民に伝えられ理解されていきました。ビキニの被災によって巻き起こった『死の灰』への恐怖に、広島・長崎の悲惨な状況を知ることによって強まった反戦感情が結びついて、強力な原水禁運動となりました。

今年1月22日に「核兵器禁止条約」が発行して、初めての3・1ビキニデーとなりました。愛知県では地域や個人での視聴が36ヵ所で取り组まれました。海外からアメリカ・韓国・イギリスなどの代表発言や、全国各地から16名の報告があり143名が参加しました。3月1日の「ビキニデー集会」もオンラインで開催され、612スポットの視聴があり展望の持てる集会となりました。



みんなのひろば

みなさんのご意見、写真など送ってください。

やっと春がやってきた



白木蓮の並木道



鮮やかな花が街を彩ります

早春の香嵐溪に可憐なカタクリの花

豊田市足助香嵐溪の飯盛山斜面 0.5ha に、今年も春の訪れを知らせるカタクリの花が一面に咲き、23日に行ってきました。頭を垂れる可憐な花に、沢山の人が見入っていました。松原義弘



豊田市足助カタクリ群生地



カタクリの花



一人静 (ひとりしずか)

4月の予定

- 8日 中部労働局「要請内容検討会議」
- 15日 合意書履行院内集会
- 17日 県本部 第231回執行委員会
- 18日 名古屋市長選 投票日
- 29日 県本部 平和宣伝

ご案内

※ 分会会議は、コロナ感染状況をみながら決めて連絡します。

3月15日久しぶりの会議

3月15日、午後1時から瀬戸市文化センターにおいて、昨年の定期大会(11月30日)以来、はじめての分会会議をおこないました。文化センターの出入り口では消毒を忘れずに、また、非接触の体温計で体温チェックをして集合。認定待ちの田中良秀さんを含め、11名が参加しました。

新型コロナの影響は、「体を動かさなくなると体力が落ちた」「会議がなかなかできない」など意見が出され、そこで「Lineグループを作ってオンラインで会議が出来ないか」と、現在7名でグループ愛知分会を作っているの、スマホの人は参加するよう呼びかけました。

定期報告(診断書)の件は、最近転院する人が多い中、病院側が必要な検査をしてなかったり、診断書に未記入だったりするケースが多く「近い病院の方が楽だから」と簡単に考えて、転院してから困ることも多いという事例を話しました。

組織拡大については、組合員からの紹介が一番確実であることから「近所の人・友人・知人など」「ぜひ紹介してほしい」また「自分の住んでいる地域のニュース・お知らせなどに、電話相談の記事を掲載できないか確認してほしい」など、話し合いました。

分会の財政状況から組合員を増やすことは待ったなしです。ひとり一人の普段の心掛けが増員に繋がります。みなさん頑張りましょう。

組合員数 ☆認定組合員数 **30**人
 ☆組合員総数 **31**人

